

## ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2005年8月30日

2005年8月21日、28日現在：

8月21日に終わる週の気温は平年並みか、多少平年を下回った。東部ワシントンに驟雨があり、Spokane 郡では収穫が中断した。冬小麦の収穫は最終段階に入った。8月21日現在、冬小麦は平年より遅い進捗で78%、春小麦は73%の完了であった。8月28日に終わる週の気象も略前週と同様気象であった。気温は平年より多少低目であった。驟雨が散発的に有ったが降水量としては記録されなかった。1週間の州平均農作業稼働日数は6.9日（前週：6.7日）であった。

8月28日の段階で、Whitman 郡の東側、Spokane 郡の一部、Lincoln 郡の北部、Asotin 郡の山麓部を残し、冬小麦の収穫は完了した。春小麦の収穫は全州の84%が完了した。農家は2006年産冬小麦の播種の準備に入った。降雨待ちである。土壌水分はTopsoil、Subsoil 共に“Very short”の圃場が過去5年平均より多くなった。冬小麦の単位収量は平年かそれ以上であるが、春小麦の単位収量は良くない。

8月1日付けUSDA発表の冬小麦生産量予想では、単位収量は7月1日付け予想と同数の69.0 bu/acrであった。春小麦の生産量予想では、単位収量は7月1日予想より2.0 bu/acre 良い47.0 bu/acre（昨年：50.0 bu/ac）であった。詳細は別表の通り。

土壌水分及び灌漑用状況：8月28日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	32	31	37	0
5-Yr Ave.	23	47	30	1
Subsoil (%)	39	38	23	0
5-Yr Ave.	14	49	37	0
Irrigation W.	15	49	37	0
Irr. Water Ave	3	6	91	0

Ave. means 5-year average

小麦の生育状況：8月28日現在

	This week	Last week	2004	5-yr. Ave.
Winter Wheat Harvested (%)	78	66	85	86
Spring Wheat Harvested (%)	73	53	79	72

Source：Washington Agricultural Statistics Service, USDA

8月1日付けUSDA冬小麦生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
July 1				Aug 1			
WA	1,750	1,850	67.0	69.0	69.0	117,250	127,650
USA	34,462	34,271	43.5	44.5	44.4	1,499,434	1,520,848

8月1日付け USDA 春小麦生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	Crop	2004	2005	2004	2005		2004
July 1					Aug 1		
WA	525	435	50.0	45.0	47.0	26,250	20,445
USA	13,174	13,637	43.2	43.2	40.6	568,918	553,375

当該作柄・気象レポートに関するご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>